

トイレットペーパーは下水に流せるのに、 なぜティッシュペーパーはダメなの？

前のページで、下水に流してはダメなものを説明したけど、本当にトイレットペーパーは水に溶けて、ティッシュペーパーは水に溶けないのかな？
実験で確かめてみよう！



用意するもの



トイレット
ペーパー



ティッシュ
ペーパー



水を入れた
ペットボトル 2 本

※実験は水がこぼれても大丈夫な場所でやってね！

※振るときは、まわり
に注意してやってね

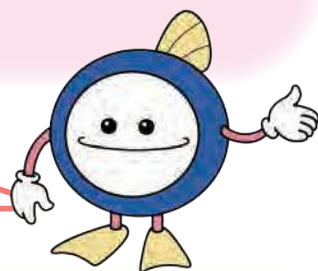


ひとつのペットボトルにはトイレットペーパーを、もうひとつのペットボトルにはティッシュペーパーを入れて、それぞれのペットボトルを思いっきり振ります。



トイレットペーパーは水に溶けましたが、なんと！ティッシュペーパーは水に溶けていません！

どうしてトイレットペーパーは水に溶けて、ティッシュペーパーは水に溶けなかったのかな？そのヒミツを説明します！！



トイレットペーパーは、紙が細かく分散するように、繊維の短い広葉樹から作られています。短い繊維を多く使うことにより、紙がほぐれやすく、水に溶けやすくしています。



ティッシュペーパーは、水分を含んでも簡単に破れないよう、あえて水に強い紙にしています。繊維が長い針葉樹を多く使ったり、水に強くなる薬品を使って、ほぐれにくく、水に溶けないよう加工をしています。



水に溶けないティッシュペーパーは、トイレに流すとつまりの原因になるので、絶対にトイレに流さないでね。

また、水に流せるティッシュペーパーもあるけど、一度に大量にトイレに流すとつまりの原因になるので注意してね。